アイリスLetter

保護者の皆様へ

2018 年 11 月 30 日発行
第 7 号
広島女学院中学高等学校

聖書のことば

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。
独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」

ヨハネによる福音書　３章 16 節

11 月 24 日に、サーロー節子さんを迎え、特別礼拝を捧げました。今年の６月 15 日には、川崎哲（あきら）さんを迎え、特別礼拝を持たせていただきましたので、ノーベル平和賞に関わられたお二人からメッセージをいただくという、とても貴重な歩みです。

サーローさんは、讃美歌 320 番を選ばれました。この讃美歌は、建物疎開をしていて被爆された同級生達が、這うようにして集まり、そこで讃美した讃美歌です。これを讃美しながら、一人また一人と亡くなっていきました。その様子を生き残った同級生から聞いたそうです。「320 番の歌詞をしっかり読んでください。今、生きている、生かされている私達が、その時亡くなった方たちがいることの意味をどう考えますか。」と訴えられました。サーローさん自身が、怒り、不安、疑いの中から、良く生きるとは、恵まれるとはということを考えながら確固たる信念を持ち歩まれてきたことが伝わりました。「自分の考えを持つために真剣に生きる。そして、その確信した考えを周りの人に話す。よく聴いてよく考える。自分の幸せのみを追求するのでなく、平和、安全、公正な社会をつくりだす責任がある。沈黙することではそれは実現しない。力強く、粘り強く、勇気をもって！」とメッセージをいただきました。午後には、対話集会で、平和をつくるための取り組みを通して生徒の考えを聞いていただきました。生徒の歩みに納得され、母校での出会いを「とてもうれしい」と感謝してくださいました。

サーロー節子さんの、ノーベル平和賞受賞式のスピーチの言葉を改めていただきましょう。「あきらめるな。押し続けろ。光が見えるだろう。その光に向かって這っていけ。」

学校は、中学は讃美歌コンクール、高校はクリスマス礼拝に向かい、その準備の時となります。12 月２日は、卒業生によるクリスマス・チャリティーコンサート、19 日は学校クリスマス、23 日はメサイアの行事があります。

隣り人につながるクリスマスを迎えましょう。

（校長）

「紬」が実現した文化祭

今年の文化祭のテーマは「紬（つむぎ）」でした。糸がより合わされて布がつくられるように、生徒一人一人が協力して文化祭を作り上げていく気持ちが込められています。中学校ではこのテーマに沿って、昨年に引き続いて生徒全員の協力によるペットボトルキャップ壁画の制作に取り組みました。

また高校 HR や各部では、その特性・個性を生かした展示や体験学習・ゲーム等があり、多くの来客を魅了していました。中学生展示会場では授業で作った作品の展示だけではなく、生徒による発表もあり、保護者の方には生徒の日頃の活動の様子がわかったことと思います。そして文化祭終了後の後片付けも、全員で協力して掃除まで手際よく済ませました。正に生徒一人一人が協力して全員が一つになる、「紬」が実現した文化祭でした。最後になりますが、毎年の文化祭に多大な協力をいただいている PTA の方、少しでもおいしいお餅を作ろうと餅米にまでこだわりを見せたお父さんの会には、教職員一同感謝しています。お陰様で今年の文化祭も、大きな事故もなく無事終了することができました。この場を借りてお礼を申し上げます。

（中高生徒会顧問）

PTA バザー報告

文化祭に伴って開催した PTA バザーも盛況のうちに幕を閉じることができました。これもひとえにご協力くださった皆様のおかげと、関係者一同深く感謝しております。

５月から約半年間、役員一同心をこめて準備してきました。天候にも恵まれた今年のバザーが、皆さんの楽しい思い出の一頁となれば幸いです。

開催にあたり、あらゆる面で支えてくださった校長先生、教職員の皆様、またお手伝いくださった保護者及び生徒の皆様に心より感謝申し上げます。またかねてよりお知らせしていた通り、バザー収益金から 10 万円を拠出し「平成 30 年７月広島県豪雨災害義援金」に寄付いたしましたことを、この場を借りてご報告いたします。ご協力ありがとうございました。

（PTA バザー担当副会長）

キリスト教強調週間（11/12～17）

主題「天國無双」、主題聖句「天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」（マタイによる福音書 13 章 31～32 節）、主題講演講師に松谷信司先生をお迎えして実施されました。

松谷先生は、テレビ朝日の報道編集、キリスト教系小学校での教員経験を経て、キリスト教系出版社「キリスト新聞社」に入社し、現在代表取締役社長。現代の若者やキリスト教に縁のない人たちに通じることばで、キリスト教を伝える様々な試みをされています。著書『キリスト教のリアル』（ポプラ社）、編著『宗教改革 2.0 へ』（ころから）など。聖書を題材にしたゲームやアプリなどを制作し、インターネットで話題になっています。講演では、子どもの頃は厳格なクリスチャンホームでテレビもゲームも厳しく制限されたこと。その結果、中２病をこじらせ、漫画家をめざしたが挫折、転職を繰り返して今の仕事に出会ったこと。クリスチャンが１％しかいない日本でも、アニメからディズニーランドまで意外と身近なところにキリスト教が関連していること、「コワイ、キビシイ、クライ」といったイメージ

を持たれている宗教やキリスト教も「視点を変えるとオモシロイ」、“ガチクリ”（洗礼を受けたクリスチャン）でなくても、“ユルクリ”（クリスチャンではないが自分なりのキリスト教とのつながり方をしている人）の存在意義は大きいことなどを楽しく語って下さいました。生徒たちは、改めてこの女学院でキリスト教に出会ったことの意味を考える機会になったようでした。

学年別活動では、「隣人と共に生きる」をテーマに、社会のさまざまな分野の講師の先生との出会いや具体的実践活動を通して考える時間を持ちました。

週間中の「昼の集い」は、中学礼拝委員会では、荒れた高校生たちがゴスペルをとおして、神様に造られた自分という存在を喜び、仲間たちと心を通わせていく『天使にラブソングを２』を上映しました。また各学年別活動でも、礼拝委員が全体をリードしてくれました。

高校宗教委員会では、月曜日は聖書科の金信先生による絵本の読み聞かせと紙芝居、火曜日は松谷先生を囲む会、水曜日は手塚治虫の遺作『聖書物語』より「イエスの誕生」上映、木曜日はカンボジア研修報告会、金曜日は安宅先生のお話と、とても多彩な内容でした。昼の集いの企画運営はもとより、主題講演の司会、閉会礼拝の司会、アピールのビラ作成や毎日の放送入れなどに誠実に取り組んでくれた宗教委員の皆さんに感謝したいと思います。

17 日(土)の閉会礼拝では、各学年の生徒代表が感想を発表し、それぞれが得たものを分かち合いました。詳細は学院報や年度末発行の小冊子『ガリラヤの風』にてご報告します。

（宗教教育委員会）

卒業生・北岡美佐子さん講演会

11 月９日高校１～３年の LHR にて、本校を卒業されスタンフォード大学･コロンビア大学大学院に進学された北岡美佐子さんから「国際社会における女性のキャリア形成の可能性」と題してご講演いただきました。

放課後の質問・座談会も盛況で、１時間半質問が絶えませんでした。お話と質問会では、北岡さんが海外の大学に直接進学した理由や、海外大学での学びと生活体験とを聞くことができました。自分の興味・関心を最も深く追求できる環境を選んだこと、膨大な課題や英語の壁で大変な苦労や葛藤があったこと、だからこそ少しずつ自分のアイデンティティが形成され、今のお仕事に出会ったこと。自分のアイデンティティを模索している 10 代のうちに広い世界に出会うことで、視野が広がっていくこと。振り返ってみると、すべての困難が今の充実につながっていくこと。どの言葉も強く印象に残っています。

（グローバル教育推進部）

保健室だより（７）

朝晩冷え込む季節となりました。広島市感染症情報センターの情報によると、広島市内でも、少しずつインフルエンザの発症が見られているようです。（すべてＡ型）

インフルエンザの予防接種を受けたと報告をしてくれる人も増えてきましたが、予防接種を受けたからと言ってもインフルエンザに罹らないわけではありません。一番の予防は、日頃からの健康管理です。十分な睡眠とバランスの良い食事、そして適度な運動をして免疫力を高めておきましょう。

（保健室）

心の健康（７）

師走になります。秋に名残を惜しみつつ冬を迎え、日暮れが早く、暗い時間が長くなりました。寒さが増し、体調を崩しやすくなっています。期末テストや成績に一喜一憂し、クリスマスや年末年始の行事の多忙さに心のバランスを崩しそうです。

良いこともあります。１つ１つの体験によって子どもの自主性が育っていくことを思うと、家庭生活の時間が長くなる冬は、親子で一緒に家事や行事を具体的にこなしていく中で、親の思いや生き方を子どもに伝えていく絶好のチャンスだとも言えます。親の姿勢に子どもはきっと家庭の中にホッとする暖かさを感じとるでしょう。そして家族と過ごしたロウソクの灯火（ともしび）のような暖かさを心の底に沈めて成長していくことでしょう。冬の家の中にはそういうチャンスがいっぱいです。

（カウンセラー）

生徒の活躍

《中学》

◇中学新体操部

＊広島市中学校新体操新人大会

団体：優勝

◇個人の活躍

＊第 58 回「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」

（公財）安達峰一郎記念財団賞

Ｍ・Ｍ（３－５）

《高校》

◇高校新体操部

＊広島県高等学校新体操新人大会

団体：優勝

⇒全国高校選抜大会出場決定

個人：一部総合

Ｍ・Ｒ（２－Ｅ）　４位

Ｍ・Ｈ（１－Ｂ）　５位

Ｍ・Ｋ（２－Ａ）　６位

Ｔ・Ｈ（２－Ａ）　７位

二部総合

Ｋ・Ｈ（２－Ｃ）　１位

Ｋ・Ｃ（２－Ａ）　２位

◇高校放送部

＊第29回広島県高等学校放送文化コンクール中部地区大会

〔アナウンス部門〕Ｙ・Ｈ（２－Ｂ）

Ｉ・Ｍ（２－Ｅ）

〔朗読部門〕　Ｔ・Ｋ（２－Ｂ）

Ｎ・Ｔ（１－Ｄ）

⇒以上４名、県大会出場決定

＊第29回広島県高等学校放送文化コンクール県大会

〔アナウンス部門〕

Ｙ・Ｈ（２－Ｂ）　審査員奨励賞

〔朗読部門〕

Ｔ・Ｋ（２－Ｂ）　優秀賞

⇒以上、Ｔ・Ｋ(２-Ｂ)は中国大会出場決定

◇個人の活躍

＊光文社古典新訳文庫中高生キャッチコピーコンクール

Ｈ・Ｍ（３－Ｅ）　優秀賞

＊日本生物学オリンピック2018予選

Ｈ・Ｙ（３－Ｃ）　優秀賞

教職員の動向

理科教諭の小山先生のご尊父様が 11 月 18 日にご逝去されました。ご家族の上に神様の慰めがございますようお祈りいたします。

中学讃美歌コンクール開催のお知らせ

12 月 17 日（月） 9 時 45 分～12 時 20 分、ゲーンスホールで、中学讃美歌コンクールが開催されます。この時期、生徒たちの一生懸命練習する歌声が学校中に流れ、クリスマスを迎える女学院の風物詩となっています。

なお、ホールの収容能力に限界があるため、**参観は中３保護者の方に限らせていただいております。**またお子様連れ、写真・ビデオ撮影、発表中の出入りはご遠慮いただいております。生徒たちのための大切な行事であることをご理解いただき、ご協力をよろしくお願いします。

（宗教教育委員会）

クリスマス献金のお願い

キリスト教の教会では、礼拝の中で神様への感謝のしるしとして献金を捧げます。女学院でも、２学期末のクリスマス礼拝で「クリスマス献金」を捧げ、この１年間の恵みを感謝し、その恵みを“隣人”と分かち合うために、NGO や福祉施設などにお送りします。２学期末に詳細を記したプリントを配布し、礼拝委員（中学）、宗教委員（高校）が各 HR で呼びかけます。趣旨をご理解の上、ご協力いただければ幸いです。

（宗教教育委員会）

女学院クリスマスのご案内

12 月 19 日(水)18 時～19 時 30 分(17 時 30 分開場)、ゲーンスホールにおいて女学院クリスマス（一般公開クリスマス礼拝）を行います。今年は大月純子先生（本校聖書科講師・日本キリスト教団牧師）のクリスマスメッセージ、高校演劇部のクリスマスをテーマにした劇『マギーの贈り物』、高校音楽部・音楽選択生有志（合唱）、中学 YWCA 部（ハンドベル）、高校 YWCA 部・高校宗教委員（司会・聖書朗読）などの生徒の皆さんの協力でプログラムを準備しております。

在校生、ご家族、卒業生はもとより、どなたでも自由にご参加いただける礼拝です。ご家族、お知り合い、お誘い合わせの上、どうぞご来場ください。共にクリスマスをお祝いしましょう。なお、入場は無料ですが、会場で席上献金（上記の団体に寄付）のご協力をお願いしています。

終了が下校時間を過ぎることをご了解の上、**中学生が参加する場合は、必ず保護者同伴か、お迎えをお願いします。**

（宗教教育委員会）

広島女学院・第 34 回「メサイア演奏会」のご案内

バロック音楽の大作曲家 G.F.ヘンデルは音楽家として厳しい苦境にあった時、台本作家ジェネンズから全能の神と救い主イエスを描いた「メサイア」の台本を提供されます。その内容に触発され、彼は驚くべきエネルギーを注いで名曲・オラトリオ「メサイア」を完成させ、以来人々に名曲として愛される作品となりました。広島女学院ではこの演奏会を長く引き継ぎ、今年も多くの協力者と共に中高からは高校音楽部、オーケストラグループ、保護者・教職員有志が参加します。是非お嬢様の在学中にご一緒にお聴きください。

※チラシ・ポスターご入用の方は事務室にお申し出ください。

日　時：12 月 23 日（日・祝日）
　　17 時開場、17 時 30 分開演
場　所：ゲーンスホール（中高校地）
出　演：独唱：乗松恵美(卒)、佐々木有紀(卒)、
　　頃安利秀、折河宏治、
　　広島女学院ﾒｻｲｱ・ｵｰｹｽﾄﾗ、
　　広島メサイア合唱団
　　指揮：星野晴夫
入場料：無料（国内各施設等への献金があります。任意）

※小学生以下のお子様にはゲーンス幼稚園による託児室が設置されます。
※駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

（メサイア実行委員）

今月の聖句

「学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬（もつやく）を贈り物として献げた。」

（マタイによる福音書2章10・11節）

（聖書科　Y．I）

12 月行事予定

1	土	
2	日	ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾄ(～12/24)
3	月	
4	火	
5	水	期末テスト(高3)**1限8：55～** 期末テスト(高1)
6	木	(高2) **1限8：55～**
7	金	(中1・2・3)**1限8：55～** **15分休憩**
8	土	
9	日	
10	月	**1限8：55～　15分休憩**
11	火	**1限8：55～　15分休憩** 高3自宅学習日
12	水	自宅学習日(中1～高2) 高3テスト返却
13	木	**1限8：55～** テスト返却(中1～高2)
14	金	高3特別時間割　**1限8：55～** 高3期末テスト素点確認
15	土	特別時間割　**1限8：55～** 期末テスト素点確認(中1～高2) (高)性教育
16	日	高3駿台センター試験ﾌﾟﾚﾃｽﾄ
17	月	**1限8：55～**　高3自宅学習日 (中)讃美歌コンクール
18	火	クリスマス礼拝リハーサル
19	水	終業の日　ｸﾘｽﾏｽ礼拝 女学院ｸﾘｽﾏｽ　面接・補習 ｴﾝﾊﾟﾜｰﾒﾝﾄﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
20	木	
21	金	
22	土	東工大ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ(午後)
23	日	天皇誕生日　メサイア
24	月	振替休日
25	火	クリスマス
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	特別休暇
30	日	
31	月	